

中学 1 年 国語科 教材別テスト⑫ 「少年の日の思い出」

「少年の日の思い出」(ヘルマン・ヘッセ) / 漢字・語句・助詞と助動詞・読解

1 年 組 番 氏名 _____

【注意事項】

- 問題は「一」から「四」(P. 1～P. 5)までです。
- 大問四は、教科書『国語 1』(光村図書)の「少年の日の思い出」を開いて解答しなさい。
- 解答は、解答用紙の適切な欄に、ていねいに楷書で書きましょう。
- 句読点などの符号も一字と数えます。

知識・技能 (50点)

次の——線部について、①～⑩はその読みをひらがなに直し、⑪～⑳ はひらが
なを漢字に直して書きなさい。ただし、送りがなが必要な場合
(⑦⑧⑨⑩⑬⑭⑮⑯) は、送りがなも必ず書くこと。

1点×20=20点

- | | |
|----------------------------------|----------------------------------|
| ① 微妙な色のちが い 。 | ② 熱狂的なファン 。 |
| ③ 羽の斑 点 。 | ④ 大切な獲物 。 |
| ⑤ 冷淡な態度をと る 。 | ⑥ 誘惑に負ける 。 |
| ⑦ 破れた網を繕 う 。 | ⑧ 通行を妨 げ る 。 |
| ⑨ 友の才能を羨 む 。 | ⑩ 相手の気配を 探 る 。 |
| ⑪ ちょうのひょうほん を 作る 。 | ⑫ どりよくを重 ね る 。 |
| ⑬ 深い いんしょう を受ける 。 | ⑭ 新しい じっけん に成功する 。 |
| ⑮ 作品を ひはん する 。 | ⑯ 試合の前に きんちょう する 。 |
| ⑰ 宝物を ぬす む 。 | ⑱ あやまちを ゆる す 。 |
| ⑲ 心から あや まる 。 | ⑳ 深く こうかい する 。 |

二

次の問いに答えなさい。

2点×7=14点

- (1) 「非の打ちどころがない」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 欠点がまったくなく、申し分がないこと。 イ 打たれても平気なほど強いこと。

ウ どこを直せばよいか見当がつかないこと。 エ 人の失敗を決して責めないこと。

- (2) 「息をのむ」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 走って息が切れること。 イ おどろきや感動のあまり、はっと息を止めること。

ウ こっそりとかくれていること。 エ 深く呼吸して心を落ち着けること。

- (3) 「～に目がない」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 見る力を失うこと。 イ とても好きで、夢中になってしまうこと。

ウ まったく興味がないこと。 エ 人の様子に気づかないこと。

- (4) 「丹念」の意味としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 手早くすませること。 イ 心をこめて、細かいところまでていねいにする事。

ウ ひとりで静かにすること。 エ 長い年月をかけること。

- (5) 「賛成」の対義語を、漢字二字で書きなさい。

- (6) 「模範」の類義語としてあてはまるものを、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 手本 イ 模型 ウ 規則 エ 競争

- (7) 「だまって、何も言わないでいる」という意味の慣用句を、次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 口をつぐむ イ 口がうまい ウ 口をはさむ エ 口が軽い

三

次の問いに答えなさい（助詞・助動詞のはたらき）。

2点×8=16点

- A (1)～(4)の――線部の助詞の種類を、後の【語群Ⅰ】から選んで書きなさい。

- (1) ぼくは、大きなちようをつかまえた。

- (2) 大きな声で呼んだが、返事はなかった。

- (3) 弟まで、ぼくの秘密を知っていた。

- (4) もう少しだけ見せてくれよ。

【語群Ⅰ】 副助詞 ・ 終助詞 ・ 格助詞 ・ 接続助詞

三 (つづき)

B (5)～(8)の――線部の助動詞の意味を、後の【語群Ⅱ】から選んで書きなさい。

- (5) 妹に、大事なノートを破られる。
- (6) 少年のころのことが、ふと思い出される。
- (7) あしたは雪が降るらしい。
- (8) その子は、今にも泣き出しそうだ。

【語群Ⅱ】 希望 ・ 推定 ・ 断定 ・ 受け身 ・ 伝聞 ・ 様態 ・ 自発 ・ 可能

※ 【語群Ⅱ】には、使わない語もふくまれています。

思考・判断・表現 (50点)

四

教科書『国語1』(光村図書)の「少年の日の思い出」を開いて、後の問いに答えなさい。

50点

- (1) この作品の組み立てについて、あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 4点

- ア はじめから終わりまで、「私」が自分の体験を順に語っていく。
- イ 二人の登場人物の会話だけで、最後まで物語が進んでいく。
- ウ はじめの場面(現在)のあとに、ある人物が自分の少年時代を語り出す、入れ子の形になっている。
- エ 二人の少年の物語が、交互に並べられている。

- (2) 作品の後半の大部分を語っているのはだれか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 2点

- ア 「私」 イ 「客」 ウ エーミール エ 「僕」の母

- (3) ちょう集めを始めたころの「僕」の気持ちについて、あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 4点

- ア まわりの友達に負けたくないという、競争心だけで集めていた。
- イ ちょうの美しさに心をうばわれ、ほかのことを忘れるほど夢中になっていた。
- ウ 大人にほめられたくて、しかたなく集めていた。
- エ 珍しいちょうを売って、お金にしようと考えていた。

四

(つづき)

(4) 「僕」が、集めたちょうを妹たち以外には見せなかったのに、隣の少年にだけは見せようという気になったのはなぜか。二十五字以上三十五字以内で書きなさい。 6点

(5) エーミールはどのような少年として描かれているか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 4点

ア 勉強も遊びも苦手で、いつも「僕」に助けを求めてくる少年。

イ 何事もそつなくこなし、他人のものを冷ややかに見る少年。

ウ 明るくだれにでも好かれ、「僕」の一番の親友である少年。

エ ちょうには関心がなく、「僕」とは口もきかない少年。

(6) 「僕」がエーミールに対していただいていた気持ちについて、あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 4点

ア みごとな収集をみとめて感心する気持ちと、ねたんで憎む気持ちが入りまじっていた。

イ 心から信頼していて、少しも悪い感情をもっていなかった。

ウ まったく関心がなく、どうしてもよい相手だと思っていた。

エ こわくてたまらず、顔を合わせないようにしていた。

(7) クジャクヤママユを見つけてから持ち出すまでの「僕」の心の動きを、順に正しく並べたものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 4点

ア かわいそうに思う → あきらめようとする → 思わず持ち出してしまう

イ 強く心をひかれる → どうしても自分のものにしたいという思いにかられる → 思わず持ち出してしまう

ウ こわくなる → エーミールを呼びに行こうとする → 思わず持ち出してしまう

エ 腹が立つ → こわしてやろうと考える → 思わず持ち出してしまう

(8) 「僕」が、持ち出したちょうをもとの場所へもどそうとしたのはなぜか。「～ため。」という形で、二十五字以上三十五字以内で書きなさい。 6点

(9) エーミールが最後に「僕」に向けて言った言葉（「そうか、そうか」で始まる一文）は、「僕」を強く打ちのめした。それはなぜだと考えられるか。二十五字以上三十五字以内で書きなさい。 6点

四

(つづき)

(10) 「僕」の行いを知った母の対応について、あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 2点

- ア 「僕」を強くしかりつけ、二度と家に入れなかった。
- イ 「僕」をせめることよりも、自分であやまりに行かせることを選んだ。
- ウ 母が代わりにあやまりに行き、「僕」を外に出さなかった。
- エ 何も知らないふりをして、最後まで取り合わなかった。

(11) 結末で、「僕」が自分の集めたちょうを一つ一つ指で押しつぶした行為には、どのような意味があると考えられるか。あてはまるものを次から一つ選び、記号で答えなさい。 4点

- ア 新しい収集を始めるために、古いものを整理しようとしたということ。
- イ エーミールへの怒りを、ちょうにぶつけてうさをはらしたということ。
- ウ 一度こわしたものは二度ともどらないと知り、自分の情熱もろとも過去を自分の手で葬ったということ。
- エ 母に言われたとおり、ちょう集めをやめる約束を果たしたということ。

(12) この作品の内容にあてはまるものを全て選び、記号で答えなさい。【完答】 4点

- ア 「僕」は、エーミールのちょうを持ち出したことを、自分から母に打ち明けた。
- イ 持ち出したちょうは、「僕」のあわてた行動のために、羽がこわれてしまった。
- ウ エーミールは、「僕」を激しくどなりつけ、なぐりかかってきた。
- エ 「僕」は、自分のちょうの収集をすべてさし出すと申し出た。
- オ エーミールは、「僕」のおわびの申し出を受け入れようとはしなかった。

解答用紙① 知識・技能

中学 1 年 国語科 教材別テスト⑫「少年の日の思い出」

1 年 組 番 氏名 _____

知識・技能 小計

一 漢字 (1点×20)	①		②	
	③		④	
	⑤		⑥	
	⑦		⑧	
	⑨		⑩	
	⑪		⑫	
	⑬		⑭	
	⑮		⑯	
	⑰		⑱	
	⑲		⑳	

二 語句の知識 (2点×7)	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)		(6)	
	(7)			

三 助詞・助動詞 (2点×8)	(1)		(2)	
	(3)		(4)	
	(5)		(6)	
	(7)		(8)	

※ 三は、A ((1)～(4)) は助詞の種類、B ((5)～(8)) は助動詞の意味を書きます。「～助詞」「受け身」などの語で答えること。

解答用紙② 思考・判断・表現

中学 1 年 国語科 教材別テスト⑫「少年の日の思い出」

1 年	組	番	氏名	
-----	---	---	----	--

思考・判断・表現 小計

合計 (100点満点)

四 「少年の日の思い出」 の読解 (50点)	(1)		(2)	
	(3)			
	(4)			
	(5)		(6)	
	(7)			
	(8)			
	(9)			
	(10)		(11)	
	(12)			

※ 記述問題は、解答欄におさまるように、ていねいな字で書きなさい。句読点も一字と数えます。(4)(8)(9) は二十五字以上三十五字以内です。(8) は「～ため。」の形で結びます。(12) は完答で、すべてそろって得点になります。

